

【小学校 理科】

全国学力・学習状況調査 今治市の各教科調査結果の特徴

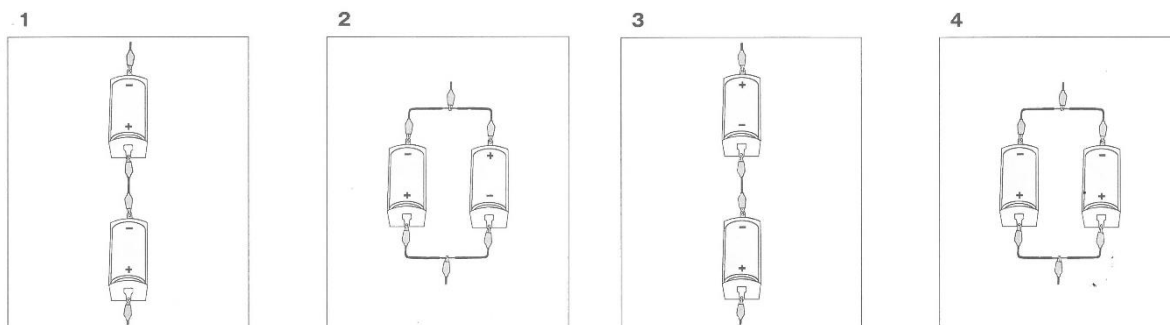
1 平均正答率等について

本市の小学校理科の平均正答率は 56%で、全国の平均正答率と比べ▼1.1%、県の平均正答率と比べ▼1%下回りました。「粒子」を柱とする領域の実験の方法が適切であったかを検討し、表現する問題の平均正答率は 50.6%（全国 50.6%、県 48.8%）と良好でした。また、「エネルギー」を柱とする領域の「知識及び技能」における乾電池のつなぎ方を問う問題の平均正答率が 51.3%（全国 55.1%、県 54.7%）、「生命」を柱とする領域の「思考力、判断力、表現力等」における差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することを問う問題の平均正答率が 24.3%（全国 29.9%、県 24.6%）と低くなっています。

2 特徴が見られた問題

2(4)

問題：かん電池 2 個をつなぎ、電磁石の強さを最も強くできるのは、どのようなつなぎ方ですか。下の 1 から 4 までのの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。



正答：1

本市の平均正答率は(51.3%)、全国の平均正答率(55.1%) 県の平均正答率(54.7%) となり、全国・県を下回りました。また、2 と回答した割合が(27.3%)、3 と回答した割合が(9.3%)、4 と回答した割合が(10.9%)となっており、誤答の中でも 2 を選択した児童の割合が高くなっております。直列回路を選ぶ問題で、並列回路でもなく、ショート回路を選ぶ児童が一定数いました。

3(4)

問題：てるみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見付けました。てるみさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を 1 つ書きましょう。

正答：日光か肥料について記述し、【問題】を見付け、疑問を示す趣旨で回答しているもの

本市の平均正答率は(23.1%)、全国の平均正答率(28.1%) 県の平均正答率(23.8%) で、全国・県を大きく下回りました。【問題】を見付け、日光か肥料について記述をしているものの、適切な答え方ができていない児童が(34.5%)いました。

3 これからの学習に当たって

図を適切に読み取れていないという課題があるので、装置を言葉や図で表現したり、言葉や図から装置を組み立てたりする活動が必要です。また、記述式の問題に答える力を伸ばすために、問題や予想、結果を書く際にキーワードを活用して表現させたり、自分の考えた過程が分かるように表現させたりする場面を取り入れていくなどの授業改善をしていく必要があります。